

千葉県まちづくり公社 まちづくり情報センターの設立にあたって

一般財団法人千葉県まちづくり公社
理事長 櫻井 和明



平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当公社は、平成12年に千葉県都市公社、千葉県都市整備協会、千葉県地域整備協会の3つの公社が統合して誕生しました。

それぞれが長年にわたって培ってきたノウハウを活かし、まちづくりに関する業務を通じて千葉県行政の一翼を担うとともに、快適で潤いのあるまちづくりの推進に努めてまいりました。

近年、急速な少子高齢化や人口減少、価値観の多様化など、まちづくりに求められる役割は変化しています。当公社は、こうしたまちづくりを取り巻く環境の変化を背景に、産・官・学・民が行う県内市町村のまちづくりや県民参加のまちづくり活動を、公社という中間的立場から支援するため、令和6年4月1日に「まちづくり情報センター」を設立いたしました。

センターでは、県内外のまちづくりに関する取り組み事例などの情報収集や様々なまちづくりにおける課題をテーマとした調査研究を行い、情報誌やWEBサイトによる情報の発信・提供をはじめ、市町村が推進するまちづくりの支援、講習会や研修会等の開催による普及啓発・人材育成などを実施し、県内のまちづくりの推進に貢献してまいりたいと考えております。

当センターを、皆様が取り組むまちづくりにご活用いただければ幸いです。



まちづくり情報センター長 就任にあたって

一般財団法人千葉県まちづくり公社
まちづくり情報センター長 小川 剛志

この度、千葉県まちづくり公社 まちづくり情報センター長に就任し、県や市町村・企業そして県民の皆様に対し、広くまちづくりに関する情報を発信し、まちづくりのお手伝いをする事となりました。

昭和63年に千葉県入庁以来、主に都市計画の業務を担当させていただき、いろいろな知識や経験を得ることができ、本年1月に日本都市計画学会の推薦をいただき、都市計画コンサルタント協会から行政職員として初めて「都市計画プランナー」の認定をいただきました。

これまでの経験を活かし地域の活性化や魅力あるまちづくりを支援していきたいと考えています。

特に地方分権により市町村が「まちづくりの主体」となり、地域の実情に応じた独自のまちづくりが行えるようになったことから、市町村の抱えるいろいろな課題や問題解決のため、先進的な取り組みなどの情報を収集・発信し、市町村のまちづくりを応援していきたいと考えています。

また、県においては、県民生活や経済活動の広域化に伴い、市町村を超えた広域的な観点に基づき、市町村と連携したまちづくりが求められており、情報センターとして、広域的な都市政策やまちづくりの取り組み、そして市町村との連携のお手伝いをしていきたいと考えています。

さらに、各都道府県にある「まちづくり情報センター」ともネットワークを構築し、全国のまちづくり情報を集め、発信していきたいと思ひます。

最後に、この「まちづくり情報センター」が末永く、千葉県の発展と、魅力ある地域・まちづくりに貢献できるよう、しっかりとその礎を作っていきたいと思ひます。

今後の活動に期待いただくとともに、ご支援・ご協力をお願いいたします。

